

うめだ

はやと

梅田 勇人 さん



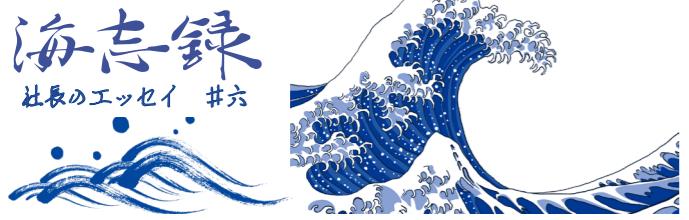
- 愛称 はやと
- 生年月日 昭和42年4月14日
- 入社年月 平成24年1月
- 出身 久留米市
- 座右の銘 「明日は明日の風が吹く」
- 趣味・特技 アウトドア
- 休日は? 昼から飲酒を楽しんでいます
- 最近ハマっていること 読書
- 自己PRをどうぞ!



車中泊しながら温泉やGoogle評価の高いお店に行く
ことが好きです。



ちょっとしたお願い事に「よかばい！」と笑顔で応えてくれる梅田さん。気さくな性格で話し出すと止まらない一面も。グルメな彼にオススメのお店を聞くと、めちゃやめちゃ詳しく教えてくれますよ！



今日は絵本の紹介をしたい。中東の国トルコと日本との、長年の絆を描いた名作「エルトゥールル号の遭難」絵本ながら大人が読んでも胸が熱くなる。あらすじは、トルコのイスタンブールから来た帆船エルトゥールル号が和歌山県最果ての紀伊大島で沈没。当時の島民たちは、自分たちの大切な食料を削ってまで見ることもない外国船の乗組員たちを懸命に救助し、手当・看護にあたってくれた。この史実がルーツとなり、トルコが100年以上の月日を経た現在でも親日国であるということを伝えるドキュメンタリー絵本である。人の心のつながりが国同士の関係に。時空を超えたこの人間ドラマ、ぜひ多くの方に読んでいただきたい。そして、みなさまがトルコと日本の歴史に興味を持つきっかけになれば嬉しい。「エルトゥールル号の遭難」小学館 文: 寮美千子 絵: 磯良一

創業136年 お客様に感謝します
- 創業明治23年(1890年) -

株式会社 大數組

福岡県筑後市長浜 2043番地の1

TEL 0120-434-892



HP

file.32 今は建築部から、主に木造建築を担当
されている梅田さんをご紹介します



オーヤブニュースレター

OH-YABU NEWS LETTER

vol.33 2025 冬



今年を締めくくる、ホリデイシーズンがやってきました。この季節、街路樹は緑から暖色へと色づき、風が吹けば落ち葉が転がる。街々は賑わい彩られ、夜空は高く澄み、寒くとも心煩めく季節です。2025年を納める空気感のなか、2026年のイメージをしてみる人も多いのではないでしょうか。オクトーバーセオリー(October Theory)とSNSでも話題になりましたが、新年への助走期間として、とあるチャレンジをスタートしたり、ルーティンを見直したり。この季節に個人で前向きに自己と向き合う取組みを指します。私も小さなことをスタートさせました。すでにDecemberではありますが、決して遅くはありません。毎日の中で、来年を思い描いて、少しだけ早めに助走し始めてみませんか。2026年がgoodなstartとなりますように！

～工事の現場から～ file#30

工事名：(仮称)寺崎脳神経外科新築工事

発注者：医療法人楓和会

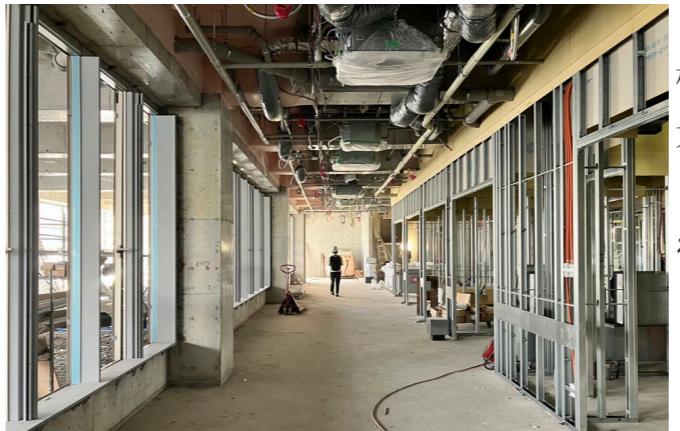
監理技術者・現場代理人

河田 昂希 さん
(1級建築施工管理技士)

田中 将樹 さん
田中美唯 さん

今回訪れた現場は、久留米市安武町。通称「やなけん」と呼ばれる県道23号線沿いに建つ、鉄筋コンクリート(RC)造3階建ての脳神経外科新築工事の現場。工事車両がひしめき合う、大忙しな現場にお邪魔してきました。

当日の作業人員は45人。敷地いっぱいに建つ建物と、現場の出入りゲートが一ヵ所という限られた状況でクレーンが鎮座していたり、各工種の作業があちこちで進められる現場内。交通量の多い県道に面している上、周りの道幅も広くはなく、通行止めをしての工事では近隣のみなさまにも大変ご協力いただいている。このような現場で頭を悩まされる搬入や重機配置の調整役は、RC造の現場は初という入社4年目の田中(将)氏が担う。こちらの現場には入社1年目の田中(美)氏もいます。若手二人について河田氏曰く「日々色々な作業が一度に行われていて忙しい現場。毎日勉強する部分しかないで成長が早いと感じています。」とのこと。そんな河田氏も先輩からの「こうしておいた方がいいぞ」という先を見据えたアドバイスなどのサポートがあるそうで、緊迫した現場も心強く進められているよう。当社現場ならではの協力体制に、取材班も何だかホッとしたエピソードでした。



脳神経外科ということでMRIやCTなどの特殊機械用の部屋も多く、構造や配線など様々なチェックが大事な部分。これからは内部の仕上げ工事も進んでいくので、お施主様との打合せも重要。みなさまに愛されるクリニックの完成までしっかり。ご安全に！



筑後市山ノ井にある寺崎脳神経外科様。
来年、久留米院として増設される、有床の
クリニックを建設させていただいている。



良く晴れた一日
取材に協力的な若者たちに感謝



河田所長

分譲地情報



季節が変わると考える、家の快適さ。寒くなると暖房の効きが気になり「ヒートショック」などのキーワードに恐怖を覚えます。竣工前の現場を訪れ「新築っていいな…」と声が漏れるのも当然の現象でしょう。新築のお住まいを建てるならこちら。うってつけの分譲地をご紹介します！

HINATOWN和泉

- 移動に便利な駅チカ分譲地
- 電車通勤の方にもおすすめ
- ・筑後市大字和泉
- ・JR羽犬塚駅から徒歩9分
- ～博多駅まで約1時間
- ・病院やスーパーも近くに

HINATOWN長浜

- 小学校隣りで通学も安心
- お買い物にも便利な街
- ・筑後市大字長浜
- ・筑後小学校のすぐ隣り
- ・スーパー・コンビニも近くに
- ・八女ICまで車で5分



それぞれ、駅やICに近いので福岡市内に通勤される方でも移動に便利。「田舎すぎず、都会すぎず、便利な街」筑後市への移住もご提案させていただきます。

来年にはそれぞれの分譲地内に1棟ずつモデルハウスを計画中ですので、ご期待ください！

詳しい最新情報は
こちら⇒HPへ



また、FPによるお金についての勉強会を開催したりと、家づくりやその後のライフプランへの不安解消もお手伝いいたします。お気軽にご相談ください。



大藪組ブログの
最新記事はこちら→



ブログ記事アクセスランキング

今年も残りわずか。みなさんにとってどんな1年でしたか。ホームページで日々更新しているブログのアクセスランクをもとに、1年を振り返ってみます。

第1位 「新たな癒しの空間が誕生」

施工させていただいた話題のカフェ「Cs Somme Café（シーズ ソム カフェ）」さんをご紹介した記事。こちらの建物は建築家の隈研吾氏が設計。白い鉄骨にネット、そしてガラス張りの外観が目を引く建物です。洗練された空間で美味しい飲み物やスイーツが楽しめます。

第2位 「華麗なる競演」

昨年、筑後広域公園内に新たにオープンしたBMXパーク。そこで行われたBMXショーを見学しました。2月の寒さも何のその。日本を代表する選手4名が圧巻の技を披露！土手をお散歩中の方も思わず足を止めるほどの盛り上がり。選手たちの活躍に、これからも目が離せません。

第3位 「新年度に気持ちも新たに」

新年度の初日、4月1日更新。桜が満開の中での月初め安全祈願の様子と、ゆめモール筑後で行われた「筑後地区 交通事故抑止特別対策部隊出発式」を取材しました。交通事故防止のため、自分と他者の命を守るためにすべきことは何か、改めて考える機会となりました。



小話雑学帯

「桜井政博のゲーム作るには」というYouTubeチャンネルをご存知ですか？「星のカービィ」「大乱闘スマッシュブラザーズ」などのディレクターである桜井政博さんがゲーム制作にまつわるお話をされているチャンネルです。2022年に最初の動画が投稿され、2年後の2024年に最終回が投稿されました。YouTubeの動画は投稿期間中に次の動画を企画、撮影、編集し投稿していくという形がほとんどだと思います。ところが最終回で明かされた事実は、最初に約260本の動画の原稿を書き上げる→一日に12本撮影をしてトーク動画の編集→素材となるゲーム画面を録画する（300本以上！）、そして外部の編集に素材を渡すというのをチャンネル始動前に済ませていたそうです。ここまで作業量をやるぞ！と決めて最後までやり遂げる行動力は常人を超えており驚きを超えてはや畏怖の念。『とにかくやれ!!【仕事の姿勢】』という動画をぜひご覧ください。やるべきことがあるのにやる気が出ないな～という人にぜひ。

補助金を活用してお得にリフォーム！



さまざまなモノが値上がりしている昨今、リフォームにかかる費用は少しでも抑えたい！そんなリフォーム費用を市が補助してくれる制度をご存知でしょうか。例えば筑後市。外壁の塗替えやキッチンなどの水回りリフォーム、間取り変更などに対し、費用の10分の1を補助してくれます（上限10万円）。各自治体とも市内の施工業者であったり、子育て世帯や三世代同居世帯などの条件がある場合も。いずれも予算枠があり事前に確認が必要です。そろそろ冬本番。補助金を使ってお得にリフォームしませんか？詳しくは各自治体のホームページをチェック！



紙の図面、電子化プロジェクト



大藪組本社2階にある「書庫」。そこには様々な書類が保管されているのですが、中でも存在感を放つ図面の数々。その数500程でしょうか。近年はパソコンで描くことが多い図面、遡ること数十年前は手描きが主流で紙のまま保管されています。その図面をスキャンし電子化していくのがこのプロジェクト。ではこの図面、何に使用するかといいますと、竣工後に改修のご依頼をいただくことがあります。図面があれば、改修プランを立てやすいのはもちろん、構造や材料、すでに隠蔽されている部分の確認ができ、工事がとてもスムーズです。図面はすでに退職された先輩方が描かれていたものが多くあり、当たり前ではありますが図面通りしっかりとつくられてきたことが分かります。普段利用しているスーパー・銀行、近くの工場、地域の学校などの図面もあり、ここも建てさせていただいたのか！と歴史に触れる一面も。これからも地域に根差した企業として頑張っていきたい、と思いを新たにするのでした。

知っとるやか？ちっこ弁クイズ



筑後民ならきっと誰もが知っている（？）筑後弁をチョイスしてみました！社内でどんのがいいか聞いてみると出るわ出るわ大盛り上がり。これが分かるあなたはかなりの筑後通。イントネーションも大事ですよ。答えは年明けにブログにて！ ★の数は難易度です。

- 『ええらしか』 ★ 『ぞーたん』 ★
- 『せつなか』 ★ 『しるしか』 ★★
- 『ぎゅった』 ★★ 『いぱる』 ★★
- 『けそけそる』 ★★★
- 『おめんばかった』 ★★★
- 『おとんことんばか』 ★★★



いつみよ「久留米養蜂場」さま



働き蜂はみんな
女の子だよ！！

ここは久留米市合川町。十三部という大きな交差点近くの目抜き通りに面した場所にある、アースカラーの建物。こちらが約3年前にお引渡しをした、「久留米養蜂場」様の店舗です。入口は南側からで、2階部分にお店があります。店内は明るく、温かい雰囲気。はちみつも、全国各地で採れた個性豊かなラインナップのものが、数量限定で店頭に並びます。地産地消、久留米のモチノキのはちみつ、などもおいてあります。贈り物にもちょうどよいサイズ展開もあり、バラエティに富み、見るのも楽しい陳列棚。そして嬉しいのは、スタッフさんから丁寧に説明を聞きながら、味の確認（試食）をさせてもらえること。花の蜜の違いで、こんなにも違う。まるで自然の一部をいただくかのようです。そして奥には、蜂の巣箱や採蜜道具！なんと養蜂の方々の必須グッズが販売してあります。これら養蜂グッズの店頭小売りは大阪以西ではこちらだけだそうです。Wow！コアな市場だなあ。消費者向けのアットホームお店もあり、またプロ向けのお店もあり、養蜂世界に一步近づくことができるお店。

今回建物を建てさせていただいたことで、有難く養蜂話の序章を伺うことができ、養蜂世界のワンダーが次々と。いきもののすばらしい生態系。健気なhoney beeたちの恵みに感謝。はちみつひとさじの重みに思いを馳せて、手を合わせる気持ちでいただきましょう。この小さな枠ではその魅力と世界感をまるでお伝え出来ないので、近々HP（チクゴニュース）にて続編を投稿予定です。請うご期待。

- 住所：久留米市合川町70-1
- 電話：0942-43-3838
- 営業時間：10:00～18:00
- 定休日：日曜日
・祝日・第1、3土曜日



↑陳列台は巣箱だよ↑